

蔵所写真工芸 NEWS



VOL.

76

記事:蔵所/小濱 編集・装幀レイアウト:佐藤 2020.02.20 発行

PICK UP NEWS 蔵所「商品企画開発部」

前回の記事でも、現在の日本は経済状況も悪く、数年の内に多くの零細企業が倒産に追い込まれる可能性を指摘させて頂きましたが、特に製造業は非常に深刻な事態を招く可能性が高いと私たちは考えております。いくつかその理由を挙げてみましょう。

① 中国を筆頭に東南アジア諸国が急激な勢いで成長を遂げている。私たちの服などを見ても中国製が非常に多いですが、最近では「ベトナム」「 Bangladesh シュ」「インドネシア」などの国名が記載されたタグを頻繁に見ます。これらの国は中国より人件費が安く尚かつ高品質です。

② 2025年問題
最近よく言われる2025年問題。団塊世代と呼ばれる人達が2025年に75歳以上となり、日本の人口の内4人に1人が75歳以上となります。それによって「労働力不足」「莫大な医療費」「介護問題」「社会保障費の増加」などが現役世代に重くのしかかります。

他にも沢山の要因はあると思いますが、いずれにせよ昔前のように大量生産品を日本で製造するような事は減少し、今後は小ロット多品種が主な仕事になると予想しています。

前置きが長くなりましたが、「じゃあ、どうするのか」ということです。

はつきり言ってお私達にも明確な答えはありません。ただ一つ自信を持って言えるのは「このままではいけない」という事です。今までの経験や技術を駆使して何が出来るかと考えた時に、今までは「B to B」しかやってこなかったのですが、幸い弊社にはインクジェット機があります。これを使って「B to C」つまり一般顧客にも営業範囲を広げていこうとなりました。

そこで考えたのが、油絵などを書くときに使用するキャンバスに写真を印刷するという物です。皆さんのお家でも写真を飾っている方は多いと思います。額に入れた写真も良いですが、キャンバスを飾ると、またひと味違った印象になりナチュラル感を演出してくれます。またインテリアとしても映えると思います。

実際に見てくださった方からも注文して頂けたり、良い反響を頂いておりますが、いかにせん営業素人。結局は良い物を作っても宣伝や売り方のノウハウが全くない為に、次はどのように広めていくかを考え試行錯誤しています。SNSはもち論 現在では近所のイベントに毎月出店したりと、今までは少し経路の違う方法で活動をしております。

* * *

ここからは少し宣伝です。先程の「キャンバスプリント」の商品紹介です。

簡単に注文できるシステム
システムと言う程の事ではないですが、ネットなどで写真のプリントを頼むのは以外と面倒です。そこで弊社ではLINEやメールを使って、画像を送ってもらうだけという方法で注文を受けています。

壁に飾った時に、キャンバスの無垢な感じがオシャレ感をより引き立たせる。(美術館をイメージすると分かりやすいかもしれません。)

印刷してもキャンバス表面の質感が残るのでふんわりした優しい写真のイメージになる。(イメージ画像参照)



普通の写真とは質感も違うので、見た目に楽しさや特別感があります。

デジタルで写真を撮る時代から、スマートフォンで撮影する時代になりました。しかし問題は、写真は撮るが、撮りっぱなしでデータだけが増えていくという事です。スマホのカメラ性能も各段に良くなり一般人でも素晴らしい写真が簡単に撮れるようになったはずですが、是非その写真を形にして残していきたいでしょう。

(小濱)

こ ん な い い も の あ り ま し た

wemo (ウェモ)

外出時、携帯でお客様から指示を受けて、その場でどうしてもメモをとらなければならないけど、メモ用紙が無い…。 そんな時、こいつを身に着けていれば一発解決！ボールペンでこれに直接メモできます。んでもって消したくなったら、指ですぐ消せる。(指は黒くなるけど) 今までは、手(親指と人差し指の間)に書いていたのですが、一瞬書くのを躊躇するし、すぐに消せないから、2~3件も重なると手がひどい状態になっていました。この商品は、だいぶ以前にテレビで紹介されていて、「どうかな〜」と思っていたのですが、しょっちゅう手がひどいことになるので、思い切って買ってみました。使ってみた感想は、一言でいうと「とっても便利」。私の場合は、メモと

いうよりミニ「to Doリスト」という感じで使っています。

まだ一か月も経っていないので、なんとも言えませんが、手放せないアイテムになりそうな予感。Webの商品情報では、私が愛用している三菱のジェットストリームだけが名指して使用不可との情報が。2種類もボールペンを持ち歩けないので、ジェットストリームで書いていますが、ちょっと消えにくいぐらいで、今のところ問題なく使えています。(蔵所)



インクジェット

サンプル案内

お弁当の中によく見かける醤油やソースが入った”タレビン”。その中でも馴染み深い魚型の容器に、「形に合わせた魚の絵を印刷したら面白いのでは?」といった思いつきで今回のサンプルが出来上がりました。

ポリエチレンの材質は、印刷の密着がわるく、下地にプライマー印刷をしましたが、テープテストではすぐに剥がれてしまいます。しかし、爪でこすったりしても剥がれません。また、伸びのあるやわらかいインクで印刷しているので、容器を押し曲げてもインクが割れることはありませんでした。

密着はいま一つで、このままでは実用性がありませんが、こうした遊び心とアイデアが、何か次の実用性のあるアイデアに繋がれば、と考えています。(佐藤)



材 料	ポリエチレン製タレビン
印 刷	UVインクジェット印刷 解像度600dpi
材料前処理	プライマー印刷
印刷後処理	無し
密着状態	やや悪い(テープテストでは、まるごと剥がれてしまいます。)

くらしょしゃしんこうげい
有限会社 蔵所写真工芸

〒535-0022 大阪市旭区新森5丁目8-25

ホームページ <https://www.kurasho.net>

TEL 06-6952-4443

FAX 06-6958-2682

kurasho@osaka.email.ne.jp

蔵所写真工芸

検索